

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	社会思想史		
英文授業科目名	History of Social Thought		
開講年度	2004年度	開講年次	1, 2年次
開講学期	2, 4学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-人文・社会科学科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	荒川 敏彦		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>私たちは現在、特に意識せずに「社会」という概念を用いている。しかし目に見える個人ならともかく、個人を越えて広がる「社会」を認識するとは、一体どういうことなのか。授業では、現代では普通に「社会」という概念で把握されている事態をめぐって、(1)平安末期から鎌倉期、江戸期、明治以降の思想史を概観し、(2)それらを踏まえながら、社会を自らの観点で現代的に構想するとともに、(3)その思考内容を言語化し、論理的に文章化する力を養う。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>教科書：プリントを配布する 参考書：さしあたり、講義予定の著作を岩波文庫や『日本の名著』シリーズ(中央公論社)等で探し出し、その解説を読むなりしてみることをお勧めする。(多くは岩波文庫で読める)</p>

【授業内容とその進め方】

おおむね以下の著作について、実際のテキストにも触れながら、検討していく予定。

- ・鴨長明『方丈記』の社会思想
- ・吉田兼好『徒然草』の社会思想
- ・慈円『愚管抄』の社会思想
- ・石田梅巖『都鄙問答』の社会思想
- ・安藤昌益『自然真営道』の社会思想
- ・二宮尊徳『報徳記』の社会思想
- ・本居宣長『古事記伝』の社会思想
- ・荻生徂來『弁道』『弁名』の社会思想
- ・福沢諭吉『文明論之概略』の社会思想
- ・中江兆民『一年有半』の社会思想
- ・内村鑑三『代表的日本人』の社会思想

テキストは、すべてプリントで配布するので、心配はいらない。

鎌倉から明治まで、ほぼ時代に沿いながら、「世の中」や「社会」という言葉がいったい何を意味しているのかに注意しつつ、それぞれの著作に触れていこう。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

《評価方法》

- (1) 授業中に書いてもらう小レポート、(2) 学期末の筆記試験、
単位取得：(1) + (2) = 60点以上

《評価基準》

ポイントは次の3点である。

授業内容の理解、比較思想史的視野の獲得、思考力と表現力

以上の3点を踏まえ、評価は次のような観点からなされる。

- A.....授業内容についてよく理解し、複数の時代と地域の社会思想を適切に比較する目を養ったうえで、自らの思索にもとづいた社会認識へと歩みだしており、これらを総合して、期末試験や小レポート等で適切に(論理的に)表現できている者。
- B.....授業内容についてよく理解し、複数の時代と地域の社会思想を適切に比較する目を養い、その理解を期末試験や小レポート等で適切に表現できている者。
- C.....授業内容についてよく理解し、その理解を期末試験や小レポート等で適切に表現できている者。
- D.....期末試験段階において、授業内容についてほとんど理解していない者。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【学生へのメッセージ】

社会や人間に対する認識の深化、考え方の変化には、ある程度の時間が必要なことも多い。「ハッ」と気づくまで、1週間や3か月ということもあれば、年単位の時間を要することもしばしばである（ときには一生かかる）。だから、半年の講義では芽が出ない場合だって当然ある。だが、この講義で扱う著作の、少なくともどれかひとつは、かならずあなたの心に残るだろう。だからこの講義については、これからの人生を豊かにするための「種をまく」という心構えがいい。

【その他】